

開腹右側大腸切除術パス 入院診療計画書

患者 I D	主治医	病 名	説 明 日
患者氏名	() 担当医	管理栄養士	症 状 ☐ 事前検査による異常所見
生年月日	() 看護師	特別な栄養管理の必要性	☐ 患部の自覚症状
病棟(病室)	薬剤師	☐ 有 ☐ 無	(腹痛・便秘・血便・)

月 日	入院日・前日	手術前
患者目標	不安なく手術を受けることができる	
治療 処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 手術前日の12時と15時に下剤を内服します 手術前日の18時と21時に腸の菌をきれいにする薬を内服します 事前に点滴をします	朝の薬は 時 分 に () を 少量の水で内服します 午前中から点滴をします
検 査	必要に応じて行います	
食 事	入院後、食事をとることはできません 手術前まで、水分(水・お茶のみ)は決められた時間と量で摂取することができます	
排 泄	制限はありません	
清 潔	シャワー浴ができます (必要な場合はお手伝いをします)	
活 動 (安静度)	制限はありませんが、病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください	病室内でお過ごしください 手術室へ歩いて移動します※状態によっては車椅子やベッドで移動します
説 明 (指 導)	入院生活や手術について説明します 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 手術室看護師の訪問があります 麻酔科医師から麻酔について説明があります 手術の際必要な物品を説明します 手術前までに用意してください	手術開始予定時刻は 時 分です 手術着に着替え、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を着用します 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください (離れる際はスタッフに声をかけてください)
その他	転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます	

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

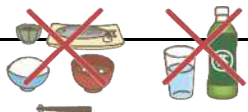
注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

外科パス:

開腹右側大腸切除術パス 入院診療計画書

患者氏名

() 患者 I D

月 日	手術後	術後1日目	術後2日目
患者目標	手術後合併症を起こさない		
治療 処置 注射 (内服)	自動血圧計、心電図モニターを装着します 酸素を開始し、足にはフットポンプを装着します ※装着時間は状況によって変わります 点滴をした状態で帰室します(続けて点滴をします) 背中に痛み止めの細い管が入っている場合があります (点滴の場合もあります)	持続で点滴をします 痛み止めの点滴をします 回診時、ガーゼの汚染が多い時は交換を行います (退院まで必要時行います)	寝る前に持続点滴が終了します 痛み止めの点滴をします 
検 査		血液検査をします	
食 事	食事・水分をとることはできません 	医師の指示で水分(水・お茶のみ)を摂取することができます	昼から流動食が開始となります
排 泄	尿の管が入っています 排便はベッド上で便器を使用します	尿の管が入っています 歩行開始後はトイレで排便できます	
清 潔	翌朝まで手術着のままで観察していきます 消灯前にベッド上で、うがいと顔拭きを行います	朝ベッド上で、うがいと顔拭きを行います タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)
活 動 (安静度)	翌朝の回診まではベッド上で安静となります 	回診後からは病棟内でお過ごしください (初回歩行時は看護師が付き添いをします) 初回歩行後は、ふらつきなどがなければ1人で歩けます 歩行後、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を脱ぎます ※状態によって変更があります	制限はありません 手術後合併症予防のため、積極的に歩きましょう
説 明 (指 導)	手術後に医師からご家族へ説明があります	看護師から食事の食べ方について説明があります	
その他	痛みが強い時や、気持ちが悪い時など、異常を感じた時はすぐにお知らせください	退院日まで毎日回診があり、医師が手術部位の状態を確認します	

外科パス:

開腹右側大腸切除術パス 入院診療計画書

患者氏名		() 患 者 I D	
月 日	術後3日目	術後4～6日目	術後7日目
	～		
患者目標	手術後合併症を起こさない		日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる
治療 処置 注射 (内服)	日中まで点滴をします 回診時、背中に入っている痛み止めの管を抜きます 痛み止めの飲み薬が処方されます		回診時、手術部位の半分を抜糸します 退院時に処方がある場合は、薬剤師よりお渡しします (不在の場合には看護師からお渡しする場合があります)
検 査	血液検査とレントゲン撮影をします	ネームバンドを外します 体温計を回収します	
食 事	昼から3分粥食となります 以降3食上がりとなり5分粥食・全粥食・常食(必要に応じて制限食)となります		
排 泄	医師の指示により尿の管を抜き、トイレを使用します		退院後の過ごし方、次回外来について説明をします 次回の外来予約票と診察券をお渡しします
清 潔	医師の許可があればシャワー浴ができます (必要な場合はお手伝いをします)		会計担当者が、お部屋へ伺います (開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります ※状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます
活 動 (安静度)	制限はありません 手術後合併症予防のため、積極的に歩きましょう		
説 明 (指 導)		術後5日目頃に栄養士から栄養食事指導があります 	
その他	痛みが強い時や、気持ちが悪い時など、異常を感じた時はすぐにお知らせください		

外科パス: